
江南市戦略計画(案)

概要版

目 次

構造改革に関する取り組み	1
江南市戦略計画とは	2
江南市の将来像	4
地域経営のあり方	6
行政経営のあり方	7
目標フレーム	8
各分野の展望・目標・市役所の使命	10

▶▶ 構造改革に関する取り組み

戦略計画策定の背景

江南市では「第4次江南市総合計画」を平成19年度まで2年間延長し、その間に、時代の変化に的確に対応できる市役所への転換をめざして「構造改革」に取り組んできました。引き続き更なる「構造改革」を進めると同時に、社会経済構造の転換に適応した、新しい江南市の地域社会づくりを展開するための計画が必要となっています。そこで、今後平成20年度から29年度までの10年間で、江南市がめざす地域社会づくりの目標と、その実現方策を示す計画として、「江南市戦略計画」を策定します。

構造改革の取り組み

平成16年の構造改革推進宣言以降、「自立可能な行財政基盤」と「市民の目線に立った行政運営体制」の確立をめざし、さまざまな「構造改革」の取り組みを進めています。

構造改革の取り組み

- ・「業務棚卸」による施策体系の洗い出し、整理
- ・「フルコスト算定」による人件費など隠れた費用を含めたコスト情報の収集
- ・「事務事業評価」による事業の分析と今後の改善策の決定
- ・「施策の展開戦略」による事業展開や経営資源の投入方針の決定
- ・「実行計画」による事業の戦略的な展開
- ・業務改善「smart運動」による職員の構造改革に対する組織風土の育成
- ・「組織と人の改革基本方針」による職員の意識改革
- ・「集中改革プラン」による行財政改革の具体的な取り組みの集中的な実施

構造改革の実績

これまでの構造改革に関する取り組みで、一定の成果を生み出し、行財政基盤の健全化や行政運営体制の確立を確実なものにしてきています。とくに、平成17年度に策定した「集中改革プラン」では平成21年度までに約30億円の歳出と、108人の職員の削減をめざし、行財政の改革に取り組んでいます。

この取り組みにより、江南市では平成18年度までに総額8億8,083万6,000円と職員42人の削減を達成し、効果を上げてきました。

集中改革プランの効果（平成17年度～18年度）

地方公営企業含む

効果額 8億8,083万6,000円【実績】【目標：7億8,549万3,000円】 達成率112.1%

職員削減数 42人（実績）【目標：27人】 達成率155.6%

平成19年4月1日現在の職員数 - 平成17年4月1日現在の職員数

集中改革プランによる主な取り組み

平成17年度

取り組み内容	効果額
美術展運営業務の市民・NPOとの協働	50万4千円
定員管理・給与の適正化	1億9,464万5千円
保育園給食の賄材料費の見直し	3,179万6千円
駐車場の目的外使用料徴収	307万4千円

平成18年度

取り組み内容	効果額
広報こうなん配布業務の市民・NPOとの協働	95万3千円
すいとびあ江南・市民文化会館の指定管理者制度の導入	7,655万9千円
資源ごみ回収団体助成金の見直し	1,050万5千円
保育材料の手作り教材の活用等	177万2千円

▶▶▶ 江南市戦略計画とは

戦略計画策定の意義

右肩上がりの成長社会が終わり成熟社会を迎えて、「成長」を前提とした計画づくりの手法では、対応が難しくなっています。「画一的な公共サービス」から「きめの細かい公共サービス」へ、「量的な充足」から「質的な満足」へのニーズの変化に対し、限りある経営資源で対応していくためには、“総合計画”ではなく、「施策の選択と資源の集中」を明らかにした“戦略計画”が必要となっています。

また、これまでの総合計画では、数値目標が設定されていなかったため、目標があいまいで、進行管理のしくみもあまり機能していませんでした。

このようなことから、新しい時代に的確に対応し、かつ、これまでの総合計画の弱点を克服できるような新たな計画として、江南市戦略計画を策定することとしました。

“戦略計画”とは、江南市が地域全体でめざす将来像や目標を明確にし、それを実現するために、どのような施策に重点をおき、地域の誰がどのような役割を担い、どういった経営資源をどのくらい投入するのかを明確にし、「進行管理」ができる計画をいいます。江南市戦略計画は、次の10年間において、江南市が地域社会全体で、めざす目標に向かって、地域の経営資源の適切な投入を図ることにより、より戦略的で実効性の高い経営の実現をめざすものです。

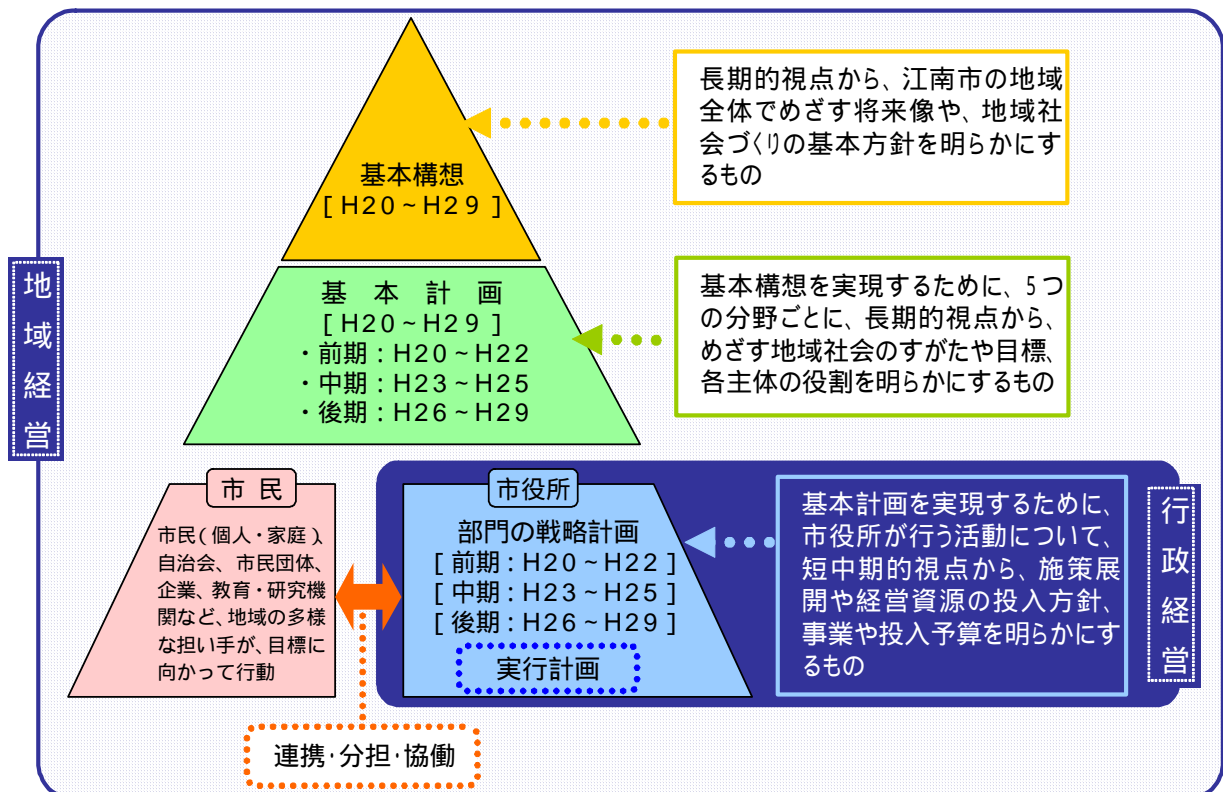
位置づけ

江南市として、地域全体の将来像や目標を明らかにし、それを地域全体で共有するための『**地域経営の指針**』

市役所として、施策展開や資源投入の方針を明らかにし、戦略的な経営を行うための『**行政経営の指針**』

計画の構成と期間

「江南市戦略計画」は、基本構想、基本計画、部門の戦略計画で構成します。



計画の特徴

成果志向の計画

「市役所が何をやるか」ではなく、「地域がどのような状態になっているか、市民がどのような生活を送っているか」といった「成果」の観点から、将来像や目標を設定しています。

「地域経営」と「行政経営」の2つの視点を盛り込んだ計画

江南市の地域全体の運営（地域経営）と、その中における市役所の運営（行政経営）の、2つの視点を盛り込んだ計画としています。

市民と市役所が共につくり共有する計画

計画策定過程においては、市民意向調査、市民会議、パブリックコメント、住民説明会などを通じて、市民が計画策定に関わる機会を多く設け、市民と市役所で共につくり、共有できる計画としています。

地域の構成員の役割を明らかにした計画

市民（個人・家庭）、自治会、市民団体、企業、教育・研究機関、市役所などの地域の構成員がもっている力を結集し、連携・分担・協働によって、よりよい地域社会づくりを進めることができるよう、将来像の実現に向けた、各構成員の役割を明らかにしています。

めざす目標を数値化し、進行管理ができる計画

めざす目標を数値化して表し、誰もが何をめざすのかを理解しやすくするとともに、策定後に目標達成度を測定し、進行管理ができる計画としています。

「選択と集中」を明らかにした計画

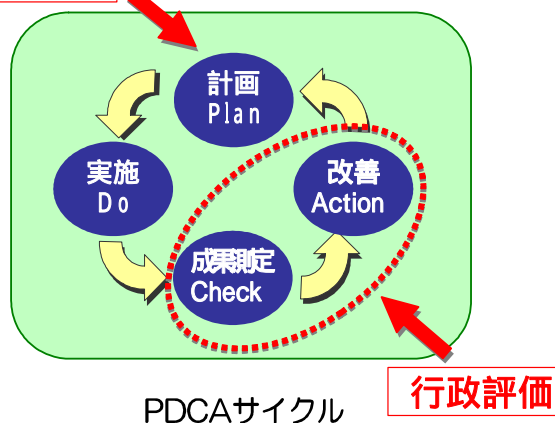
地域全体として、また市役所として、何に重点をおき、どれくらいの経営資源を投入するのかを明らかにした「選択と集中」を図ることができる計画としています。

計画の運用

「江南市戦略計画」の運用にあたっては、まずは、地域の構成員が、めざす目標を共有し認識することが必要です。次に、その実現に向けてそれぞれの役割を適切に果たし、行動することが重要です。さらに、行動した結果、計画どおりに成果が実現されているか、まちづくりが順調に進んでいるかを定期的に確認し、進ちょくに問題があれば、改善を図ることになります。

このような、計画の策定 [PLAN]、実施 [DO]、成果測定（評価）[CHECK]、改善 [ACTION] というPDCAのマネジメントサイクルを確立することにより、「江南市戦略計画」の適切な運用を図ります。

戦略計画



3つの行政評価システムによる進行管理

市民と市役所が推進するまちづくりの進行管理

▶ まちづくり評価

市役所が推進する施策の進行管理

▶ 施策評価

市役所が推進する事務事業の進行管理

▶ 事務事業評価

▶▶▶ 江南市の将来像

社会環境変化と 求められる方向性

- 1 地方分権の進展
- 2 人口減少・少子高齢社会の到来
- 3 価値観やライフスタイルの多様化
- 4 「機会の平等」への要請の高まり
- 5 市民の自治意識の高まり
- 6 安心・安全な生活環境へのニーズの高まり
- 7 起業の活発化・雇用形態の多様化
- 8 多様化する環境問題への対応

江南市の資源の特徴

江南市の潜在力となる資源

恵まれた地形・豊かな自然
大都市名古屋に近く便利な立地
豊かな歴史と文化
多くの協働パートナーの存在
市役所の構造改革の取り組み

江南市の課題となる資源

不十分な社会資本整備
地域を活性化させる核となる産業の欠如
少子高齢社会に備えた環境整備が不十分
学びの機会・学んだことを還元する機会が不十分
厳しい財政状況
市民と市役所との間の情報発信・情報共有が不十分

将来像

地域社会のしくみ

だれもが主役、
みんなで築く、みんなの郷土

～地域の進むべき方向を「共に考え」 地域づくりを「共に担う」～

地域の進むべき方向は地域のみんで考えて選択し、それを目標として共有すること、また共有した目標に向かって、地域のみんが担い手となって力を発揮し協力し合うこと。そういった地域社会のしくみを構築することにより、江南市を郷土として想い、愛着をもつ地域の構成員みんなの満足感を高めていきます。

江南市の都市のすがた

豊かで暮らしやすい生活都市

～市民の生活が地域で支えられる「生活都市」～



都市機能

安心・安全に暮らせるまち
快適・便利に暮らせるまち
市民が生きがいもち、活力あふれるまち
豊かな人材が育つまち
環境と調和した豊かな生活の場があるまち

江南市は、これまで、名古屋近郊の「ベッドタウン」として発展してきました。今後は、温暖で暮らしやすい気候、豊かな自然、名古屋へのアクセスの良さなどの潜在的資源をいっそう活かし、都市機能を充実させるとともに、コミュニティビジネスの創出や既存の生活産業の活性化を図ることにより、市民の生活が地域で支えられて、市民がより豊かに暮らすことのできる、自立し活力ある「生活都市」へと転換をめざします。

新しい将来像を実現するために・・・



市民と市役所の役割

市民の役割

市民は、地域社会づくりの「主役」になって、地域の進むべき方向性を市役所と共に考える

市民は、公共サービスの「受け手」であると同時に、「担い手」であるという意識をもち、市役所と協力して地域社会づくりに力を結集する

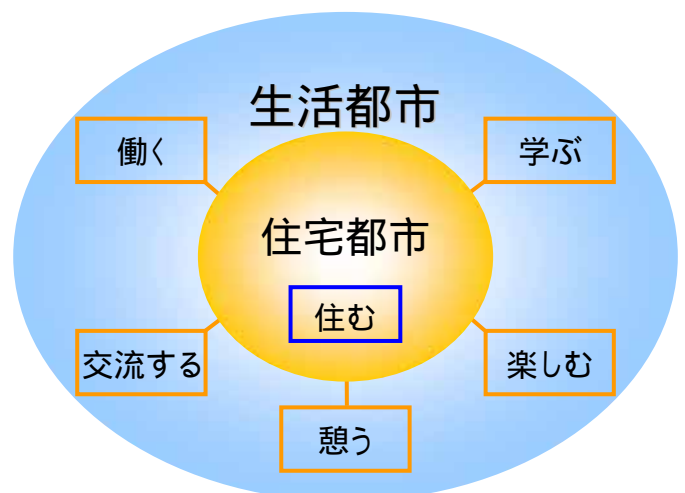
市役所の役割

市役所は、市民とともに地域社会のあり方を考え、地域の資源をコーディネートして、地域に新しい価値を生み出す

市役所は、地域の実情に合ったきめ細かなサービスを、効率的かつ効果的に提供する

生活都市とは

住む、働く、学ぶ、楽しむなどの広い意味の生活機能を備えた都市のこと。「住宅都市（ベッドタウン）」を核に、様々な生活機能が付加された「生活者」のための都市。「生活者」自身も、環境や福祉などの地域社会の抱える課題の解決をめざして、自主的・自立的に行動することにより、「生活都市」が実現されます。



▶▶地域経営のあり方

地域経営とは

江南市には、市民（個人・家庭）、自治会、市民団体、企業、教育・研究機関、市役所などのさまざまな主体が存在し、活動しています。「地域経営」とは、このような多様な主体によって構成される江南市の地域全体について、それらのもつ経営資源を最大限に活かして、地域の価値を高め、各主体の満足度を高める活動・営みをいいます。

めざす地域経営のすがた

「市民（個人・家庭）、自治会、市民団体、企業、教育・研究機関、市役所などが、強固な信頼関係の下、市の将来像や目標を共有するとともに、それぞれの得意な分野で力を発揮し、連携・分担・協働により課題解決を図りながら、その実現に向けて協力し合っている。」状態をめざします。

地域経営の基本方針

1 人材育成

地域で活躍する人材、地域社会づくりの核となる人材の育成に力を入れる

2 情報共有

地域のみみんなが同じ視点で物事を考えることができるよう、市役所からの情報発信、市民からの情報発信、相互の情報共有や信頼構築などに力を入れる

3 協働の環境づくり

コミュニティ活動が活発に行われるようなきっかけづくりやしくみづくり、市民の活動と市役所の活動が連携するような環境づくりに力を入れる

協働の基本的な考え方

協働の目的と意義

新しい時代に適応した、自由で文化的な成熟した新しい地域社会 - 江南のまちを築いていくことが求められています。「協働」は、市民（個人・家庭）、自治会、市民団体、企業、教育・研究機関、市役所などが互いに助け合い、力を発揮し合うことにより、地域全体で新しい「公共」を創造し、市民を幸せにすることができる可能性をもっています。

協働の定義

江南市の地域経営における「協働」とは、「地域の構成員が共通の目標をもって協力し、地域の一員としての自覚ある立場から、地域をよりよくするための活動に自主的に取り組むこと」をいいます。さまざまな主体が、それぞれの得意分野で力を発揮するとともに、相互に協力して活動することにより、そこに相乗効果が生まれ、地域に、新たな価値がもたらされることが期待されます。

協働の担い手

市民（個人・家庭）、自治会、市民団体、企業、教育・研究機関、市役所などの地域の構成員が、協働の担い手となります。

協働の原則

「対等な関係」、「相互理解」、「目的・目標の共有」、「情報の公開と共有」の4つです。

▶▶行政経営のあり方

行政経営とは

「行政経営」とは、「地域経営」の中で、市役所が、自らのもつ経営資源を最大限に活かして、市民や地域に成果をもたらすために行う活動・営みをいいます。

めざす行政経営のすがた

「市役所の各組織が、展望や目標を共有し、使命を明確にして、戦略に基づいて、効率的で効果的な業務執行をしている。それにより、限られた経営資源の中で、最大の成果を実現し、市民からの信頼を得ている。国や県への依存から脱却し、自らが自信をもって政策展開を図っている。また、持続可能な財政基盤を確保している。全職員が、常に創意工夫をしながら業務を遂行するとともに、経営能力を向上させる努力を惜しまず、最大限の力を発揮している。」状態をめざします。

行政経営の基本方針

- 1 トップマネジメントの政策立案機能の強化 江南市の地域全体の戦略本部としての、経営層の機能強化に力を入れる
- 2 分権型の経営システムの確立 市役所の各組織が、明確な目標をもって、与えられた経営資源を活用して、最大の成果をあげる経営を行うことができるしくみの構築に力を入れる
- 3 経営のできる人材の育成 経営能力とリーダーシップを兼ね備えた人材の育成に力を入れる
- 4 意識と風土の改革 従来のすがたにとらわれず、職員があらゆる視点から改革に挑戦する意識づくり・風土づくりに力を入れる

行政経営の重点戦略

予防や危機管理を重視した、地域全体での連携による、安心・安全対策の実施
誰もが安心して地域で暮らすための、最低限度の生活が保障されるしくみ、地域全体での支え合いのしくみの整備
便利で快適な市民生活を支える都市生活基盤の整備
地域の課題解決や日常生活支援の受け皿となるNPO やコミュニティビジネスの創出、地域産業の振興・育成
自立し生きがいをもって暮らすための、予防・自立支援型の福祉政策、地域で活躍できる場・しくみの整備
次世代を担う人材の育成、地域社会の発展に貢献できる人づくり
地域全体で子育てをサポートするしくみの整備
環境と市民生活との共生・調和のための取り組みが可能となるしくみの整備

▶▶▶ 目標フレーム

人口

将来人口は、平成 27 年度にピークに達した後、減少することが見込まれていますが、計画期間中に展開する子育て環境の充実、安心安全度の向上、住環境の充実などの各種施策の実施効果を見込み、平成 27 年度のピーク人口を 103,000 人とし、その後その人口を維持することをめざし、将来目標人口を以下のとおり設定します。

年 度	平成 22 年度	平成 25 年度	平成 29 年度
総人口	102,100 人	102,700 人	103,000 人
年少人口 (0～14 歳)	15,237 人	14,973 人	14,260 人
生産年齢人口 (15～64 歳)	64,854 人	63,683 人	61,854 人
老年人口 (65 歳～)	22,009 人	24,044 人	26,886 人

財 政

平成 19 年度予算を基礎として、平成 29 年度までの財政状況を一般会計ベースで見通した財政計画は次のとおりです。

(単位:百万円)

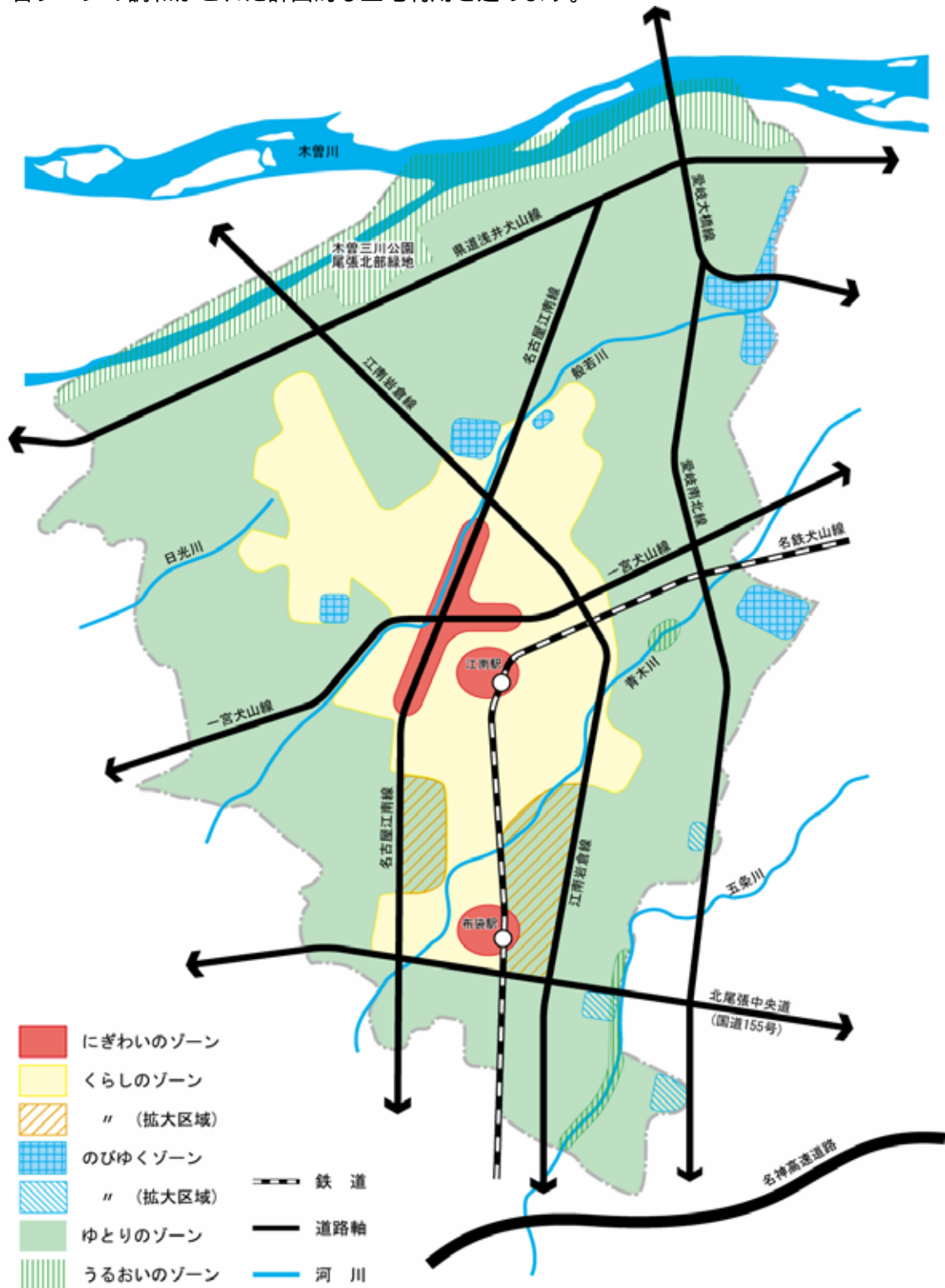
年 度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
歳入総額	24,821	24,371	24,224	24,223	23,890	23,339	23,336	23,421	23,258	23,294	23,285	
財 源 自 主	市 税	12,844	12,854	12,615	12,655	12,688	12,449	12,513	12,576	12,353	12,417	12,487
	そ の 他	3,175	2,890	2,987	2,770	2,771	2,575	2,574	2,576	2,575	2,576	2,575
財 源 依 存	市 債	1,789	1,596	1,670	1,737	1,463	1,367	1,271	1,294	1,320	1,348	1,278
	地方交付税	1,784	1,823	1,658	1,785	1,785	1,785	1,868	1,785	1,714	1,785	1,785
	そ の 他	5,229	5,208	5,294	5,276	5,183	5,163	5,110	5,190	5,296	5,168	5,160
歳出総額	24,821	24,371	24,224	24,223	23,890	23,339	23,336	23,421	23,258	23,294	23,285	
経 費 義 務 的	人 件 費	6,414	6,071	6,011	5,665	5,875	5,475	5,379	5,293	5,228	5,224	4,983
	扶 助 費	3,869	3,839	3,836	3,830	3,822	3,817	3,811	3,804	3,795	3,784	3,775
	公 債 費	2,305	2,289	2,328	2,297	2,265	2,235	2,192	2,197	1,954	1,960	1,937
投資的経費	2,020	2,279	2,233	2,307	2,420	2,283	2,228	2,298	2,261	2,278	2,373	
その他経費	10,213	9,893	9,816	10,124	9,508	9,529	9,726	9,829	10,020	10,048	10,217	

平成 19 年度は、予算見込額、平成 20 年度以降は計画額

- 自主財源とは** 市が自らの権限で収入することができる財源で、主なものは市税（市民税、固定資産税など）です。その他には、分担金・負担金（市が行う事業により利益を受ける者から徴収するお金）や使用料（公共施設を利用したときに徴収される料金）、手数料（証明書等の交付を受けたときに利用者が負担するお金）、諸収入（他の歳入科目に含まれない収入で預金利子や雑入等）などがあります。
- 依存財源とは** 国や県の意思決定により収入される財源で、主なものは市債、地方交付税です。その他には、地方譲与税や利子割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、国庫・県支出金などがあります。
- 義務的経費とは** 任意に削減できない極めて硬直性が強い経費で、人件費（職員の給与等）、扶助費（生活保護費等）及び公債費（地方債の元利償還金等）があります。
- 投資的経費とは** 道路、橋りょう、公園、学校の建設等社会資本の整備等に要する経費で、普通建設事業費と災害復旧事業費があります。
- その他経費とは** 義務的経費及び投資的経費以外の経費で、物件費（旅費や備品購入費、委託料等）や維持補修費（公用・公共施設などの修繕に係る経費）、補助費等（民間団体や他の地方公共団体などが行う事業に対して支出する補助金や負担金等）、繰出金（特別会計へ支出する経費）などがあります。

土地利用

「豊かで暮らしやすい生活都市」にふさわしい健全な都市環境の形成と都市機能の集積を実現するため、江南市の骨格となり、将来の発展軸となる道路軸を設定するとともに、市域を次の5つのゾーンに区分し、各ゾーンの調和がとれた計画的な土地利用を進めます。



<p>にぎわいのゾーン 市民生活の中心となるゾーンとして、都市機能の集積を高めるとともに、江南市のシンボルとなる景観とにぎわいを形成します。</p>	<p>のびゆくゾーン 市内における就業の場となる活力ある工業ゾーンとして、周辺環境に配慮しつつ、今後も地域経済に貢献していきます。</p>	<p>うるおいのゾーン 木曾川や五桑川沿いの恵まれた水辺や緑地など身近な自然を保全し、憩いとうるおいを提供するとともに、レクリエーションの場として活用します。</p>
<p>くらしのゾーン 安全で安心して暮らせる居住環境を形成するため、市街地整備を進めるとともに、うるおいのある快適な空間づくりを進めます。</p>	<p>ゆとりのゾーン 都市空間にゆとりをもたらすゾーンとして、市街化を抑制し、農地の多面的な機能を維持・活用します。</p>	<p>道路軸 東西軸：北尾張中央道(国道155号)・一宮犬山線・県道浅井犬山線 南北軸：名古屋江南線・江南岩倉線・愛岐南北線・愛岐大橋線</p>

▶▶各分野の展望・目標・市役所の使命

分野 1 生活環境、産業分野

めざす姿

市民がいきいきと働き、地域が活力にあふれ、市民は安心・安全、快適・便利に暮らしている。

1 安心・安全な地域づくり

地域防犯・防災・交通安全

10年後の地域の姿

「自分たちの地域は自分たちで守る」という自助・共助の意識が定着し、地域全体で支え合いのしくみが構築され、市民が協力して防犯活動や交通安全対策、災害への備えを行っている。

その結果、犯罪や事故が少なくなり、災害に対する不安も軽減され、市民が安心・安全に暮らしている。

市役所の使命

地域の防犯・防災力を向上させるための意識啓発、組織や人の育成、活動支援を行う。また、交通事故を減らすため、戦略的・計画的な交通安全施設の整備を行う。



- 全体目標** 犯罪や災害への不安が少なく、市民が安心・安全に暮らしている
- 個別目標** 災害への備えが行われている
- 個別目標** 地域の防犯体制が整い、犯罪が減っている
- 個別目標** 交通事故が減っている

2 消防・救急体制の充実

消防・救急

10年後の地域の姿

市民は、応急手当講習・防災訓練に積極的に参加し、火災や地震などの災害発生時の備えが十分に行われている。市役所は、広域的協力体制による充実した消防・救急体制が整い、迅速かつ的確な対応ができている。

その結果、救命率も向上し、また火災や地震などの災害に対する不安が軽減され市民が安心して暮らしている。

市役所の使命

救急・救助や火災などの災害に対し、被害を最小限にとどめるため、迅速かつ的確に対応し、消防・救急体制の充実強化や市民への防火意識の啓発を行うことにより、市民の大切な生命・財産を守る。



- 全体目標** 消防・救急体制が整い、市民が安心・安全に暮らしている
- 個別目標** 消防・救急体制が充実している
- 個別目標** 防火対象物や危険物施設などの安全対策指導が徹底されている
- 個別目標** 救急・救助や消火活動において、迅速・的確に対応している

10年後の地域の姿

市役所では、早くて便利な窓口サービスが提供されている。市民は消費生活に関する講座・相談などに積極的に参加することにより、日常生活に役立つ知識を得ている。また、市民の足が確保され、地域活動に参加しやすくなっている。

その結果、市民は快適で便利な日常生活を送っている。

市役所の使命

専門的な知識を持った行政・法律相談員、消費者団体などによる生活相談を充実させるとともに、消費生活に関する問題や被害を防止するための啓発活動を行う。

窓口サービスの効率化と顧客満足度の向上を目指し、休日などでも利用できる窓口体制の整備、外国語を話せる人材の配置などに取り組む。

いこまいCARの空白地域への運行拡大により、公共交通システムの充実に図る。



- 全体目標** 市民が日常生活に困ることなく便利に暮らしている
- 個別目標** 専門家による相談を受け安心して暮らしている
- 個別目標** 身分等が正確に記録・管理され、市民は窓口サービスを迅速に受けている
- 個別目標** 市民の足が確保できている

10年後の地域の姿

地域の産業が活性化し、雇用の場も確保されて、市民が安定した生活を送っている。地域に認定農業者が増えて、耕作が積極的に行われている。また、観光ルートが整備され、魅力あふれる地域社会が形成されている。

その結果、生活産業が地域で支えられ、経済的に自立した、活力あふれる、住みやすいまちとなっている。

市役所の使命

地域全体が活力あるまちになるよう、産業の振興、商工農業者への支援、コミュニティビジネスやベンチャーの起業支援などを積極的に推進する。

関係機関と連携を図り、就労場所の確保のための情報提供の啓発などを推進する。また、観光資源を活用したイベントを開催し、観光PRと観光客の誘致を図る。



- 全体目標** 生活産業などが活性化し、地域に雇用の場が確保され、活力あふれる、住みよいまちとなっている
- 個別目標** 魅力ある商工業の成長により、活気のある地域社会になっている
- 個別目標** コミュニティビジネスが活発に起業され、地域のニーズに合ったサービスが地域で供給されている
- 個別目標** 地域に雇用の場が確保され、いきいきと働いている
- 個別目標** 農業用施設が常時利用でき、農業従事者が安心して農業に従事している
- 個別目標** 市民は地域の観光資源に親しみ、多くの観光客が訪れて、地域が活性化している

5 自然と調和した快適な生活環境の確保

環境保全

10年後の地域の姿

自然と調和した快適な生活環境を目指し、公害苦情の少ないまちづくりが積極的に推進されている。また、地球温暖化防止のため、クリーンエネルギーの導入が進み、市民の省エネ、省資源への意識が向上し、環境保全がされている。

その結果、環境負荷の少ない生活環境が確保され、市民が安心して快適に暮らしている。

市役所の使命

環境負荷の少ない生活環境を確保するため、積極的な啓発、パトロールを実施し、迅速かつ適切な対応により問題解決に努める。また、市民・NPO・企業などと協働で、省エネ、省資源、自然環境保全などの幅広い取り組みを一層進め、市民の意識向上に向け啓発、活動支援を積極的に行い、循環型社会の構築を推進する。



全体目標 自然と調和した快適で、環境負荷の少ない生活環境が保全され安心して生活している。

個別目標 環境保全の意識が高まり、環境負荷の少ない生活・活動を営んでいる

個別目標 公害苦情等が少なく、生活環境が保全され快適な生活を送っている

6 ごみ減量と適切な処理の推進

ごみ減量・処理

10年後の地域の姿

循環型社会形成の意識が定着し、ごみ減量「57（コウナン）運動」が市民・企業・市役所の協働により、地域全体で取り組まれている。

その結果、市民1人当たりのごみ量が減少し、快適で衛生的な生活環境のもとで、市民が安心して暮らしている。

市役所の使命

地域のごみ減量を推進するための意識啓発、組織や人の育成、活動支援を行い、適正な分別リサイクルを行う。また、し尿処理施設、火葬施設、ごみ焼却場については、適正で効率的な運営に努める。



全体目標 ごみ減量やリサイクルを取り入れた生活環境が実現し、市民が安心して暮らしている

個別目標 リサイクルが進み、市民が出す可燃ごみ量が減っている

個別目標 ごみ、し尿、火葬が適正に処理され、市民の生活環境が保全されている

分野 2 健康、福祉分野

めざす姿

地域全体で子育てや介護などを支援し、市民が健康で自立した生活をし、安心していきいきと暮らしている。

1 高齢者の住み慣れた地域での生活の確保

高齢者福祉

10年後の地域の姿

高齢者自らが健康を維持することに心がけ、積極的に仕事やボランティア活動を行っている。一方介護が必要な高齢者は、地域の施設や自宅で、適切な介護サービスを受けている。

その結果、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って生活し、介護が必要になっても、安心した生活ができています。

市役所の使命

介護予防の取り組みを高齢者ボランティアなどと協働しながら推進する。また、高齢者がいきいきとした生活を送ることができるように、高齢者の仕事や活動の場所の確保などの支援をする。

介護が必要になったら、個々にあった適切な福祉サービス・介護サービスを提供する。



- 全体目標** 高齢者が生きがいをもって安心して暮らしている
- 個別目標** 高齢者が介護予防に取り組み、介護が必要になっても地域で安心して暮らしている
- 個別目標** 高齢者が在宅で安心して暮らしている
- 個別目標** 老後も高齢者は生きがいを持って充実した生活を送っている

2 地域で安心して子育てできる環境づくり

子育て

10年後の地域の姿

子育てを支援するさまざまなサークルやボランティア組織により、地域ぐるみで世代を超えた交流が積極的に行われ、市民、事業者、関係機関が共にパートナーシップをとり、役割分担して子育て支援が行われるようになっている。

その結果、子育て中の家庭がさまざまな保育サービスを受け、子育ての悩みや不安が解消され、安心して子どもを地域で産み育て、楽しく子育てができています。

市役所の使命

地域のボランティア組織や人材の育成、ボランティア活動への支援、地域ぐるみでの子育て力を向上させる啓発活動や民間活用を進め、各地域のニーズに合わせた計画的な子育て施設の整備、保育サービス、療育支援、育児支援を行い、子育てしやすい環境を整える。



- 全体目標** 安心して子育てしている
- 個別目標** 働きながら子育てする家庭が、安心して育児ができています
- 個別目標** 家庭での子育て不安が解消でき、育児が楽しくできています
- 個別目標** 異年齢児との交流や親子での遊びを通じ、子どもが健全に育っている
- 個別目標** 支援が必要な子育て家庭が自立して子育てができています
- 個別目標** 障害児は療育支援や統合保育での発達支援を受けています

3 障害者の生きがいと安心した生活の確保

障害者福祉

10年後の地域の姿

能力に応じた就労などを行い、必要な支援サービスを受けて、障害者が住み慣れた地域で生活している。また、地域社会でのノーマライゼーションの意識が定着し、障害者が地域で活動しやすいようなソフト・ハード両面におけるユニバーサルデザイン・バリアフリー化が進んでいる。

その結果、障害者の自立及び社会参加が進み、地域で生きがいを持って安心して暮らしている。



- 全体目標** 障害者が自立し、住み慣れた地域で生きがいをもって安心して暮らしている
- 個別目標** 障害者が生活しやすい社会環境が整備され、能力にあった就労・社会参加をしている
- 個別目標** 障害者は日常生活の支援を受け、安定した生活をしている

市役所の使命

ノーマライゼーションの意識を定着させるための啓発を行う。公共施設のユニバーサルデザイン・バリアフリー化を進める。障害者の自立及び社会参加に向けて支援する。

4 健康な生活の確保

健康づくり

10年後の地域の姿

日ごろから正しい食生活や運動を心がけるとともに、生涯を通じて市民自らが健康づくりを行っている。健康診査を定期的に受診し、疾病の予防・早期発見に取り組むという意識が定着し、各地域で健康づくりの教室などが行われている。

その結果、寝たきりや生活習慣病になる人が少なくなり、市民は長く健康を保持し安心して暮らしている。



- 全体目標** 自ら健康づくりに取り組み、健康に暮らしている
- 個別目標** 自らが疾病予防に取り組んでいる
- 個別目標** 必要な予防接種を受け、感染症にかかることなく健康を維持している
- 個別目標** 母子が健康保持に積極的に取り組み、母子ともに健康に暮らしている
- 個別目標** 市民が安心して医療を受けている

市役所の使命

地域の健康意識を向上させるための啓発、ボランティアの育成や活動支援を行う。また、身近で運動などができるように地域・学校・職場が一体となった健康づくりのための環境を整える。

感染症を予防するために、予防接種の受診率の向上を図る。

妊婦・乳幼児の健康保持のために、妊婦・乳幼児健診の充実を図る。

5 保険年金制度の健全な運営

保険年金

10年後の地域の姿

市民自らの健康意識が定着し、保険年金制度が健全に運営されている。

その結果、もしもの場合に最低限の生活が保障されていることにより、生活の不安が軽減され、安心して暮らしている。



- 全体目標** 保険年金制度が健全に運営され、もしもの場合の生活の不安が軽減され、安心して暮らしている
- 個別目標** 医療保険制度が健全に運営され、市民が安心して医療を受けている
- 個別目標** 国民年金制度への理解が深まり、届出や保険料の納付が適正に行われている

市役所の使命

健康への自覚を促すため、医療保険の加入者に対し、健康診査、保健指導を推進し、国民健康保険制度の健全な運営に努める。また、国民年金事務を円滑に進める。

10年後の地域の姿

生活困窮者などに対する自立への支援が行われている。また、福祉関係のボランティア団体、NPO、コミュニティビジネスを行う企業及び市役所の間でネットワーク化が進み、機能的に協働するシステムが整備され、子育てや介護などに対する支援が地域全体で効果的になされている。

その結果、生活困窮者、子育て中の市民や高齢者などの誰もが地域で安心して暮らしている。



- 全体目標** 生活困窮者や高齢者などへの生活支援が充実し地域で支え合い、誰もが地域で安心して暮らしている
- 個別目標** 生活困窮者や被災者が支援を受け、自立している
- 個別目標** 社会福祉関係団体などが地域の福祉活動を積極的に行っている
- 個別目標** 生活困窮者や高齢者などは、民生委員等の支援を受け、問題を解決し、安定した生活をしている
- 個別目標** 地域住民が地域福祉活動や学習活動を積極的に行っている

市役所の使命

生活困窮者などの自立を支援する。また、地域全体で課題を解決できるしくみをつくる。福祉活動を支援し、活動の担い手となる人材を育成していく。

分野 3 都市生活基盤分野

めざす姿

都市生活基盤が整備され、全ての市民が快適で安心・安全な生活をしている。

1 秩序と賑わいのある快適なまちづくり

市街地整備

10年後の地域の姿

既存のまちづくり団体の活動が活性化し、まちづくり活動を積極的に推進する中心的団体が組織され、市役所との協働による自立した多様なまちづくり活動が盛んに行われている。

その結果、秩序ある都市計画の推進がなされ、市民が快適な生活を送っている。また、やる気と元気のある中心市街地が再生され、多くの市民が集い、賑わっている。

市役所の使命

秩序ある都市空間を創出するため、市民と共有できるビジョンや方策を都市計画マスタープランなどに定め、実現性の高い都市計画を推進する。また、空洞化、衰退が著しい中心市街地を活性化するための施策を推進する。



- 全体目標** 秩序ある都市計画により、美しく賑わいのあるまちで生活している
- 個別目標** 適正な都市計画により、秩序があり美しく、快適なまちづくりが行われている
- 個別目標** 魅力的で快適な市街地が整備され、多くの市民で賑わっている
- 個別目標** 土地区画整理事業などが行われ、快適な住環境で生活を送っている

2 人にやさしいみちづくり

道路

10年後の地域の姿

交通量の多い生活道路を中心に、人にやさしい道路や歩道が適切に整備・管理されている。

その結果、道路をスムーズに、安全に通行することができ、市内で便利に安心して活動したり生活したりできている。

市役所の使命

計画的・効率的な整備を行い、安全で安心できる道路づくりに努める。また、道路を良好な環境にするために、適切な道路の管理に努める。



- 全体目標** 道路が整備され人や車が安全・快適に通行している
- 個別目標** 道路などの財産が適切に管理され、快適に利用している
- 個別目標** 道路、橋りょう、排水施設が整備され、円滑な通行が確保されている

3 花と緑あふれる公園づくり

公園緑地

10年後の地域の姿

公園緑地が整備され、地域を挙げて緑化に取り組み、公園は、住民によって大切に管理がされている。

その結果、公園でゆったりと余暇を過ごし、ゆとりとうるおいのある生活を送っている。

市役所の使命

「花いっぱい・元気いっぱいのまち江南」地域再生計画などに基づき、地域住民と協働による緑化の推進と、緑あふれる公園づくりを進めるとともに適正な管理に努める。



- 全体目標** 公園などが整備され、ゆとりとうるおいのある生活を送っている
- 個別目標** 都市公園等が整備され、日ごろから公園に歩いて行き、うるおいのある生活をしている
- 個別目標** 都市緑化が推進され、うるおいとゆとりのある生活を送っている
- 個別目標** 地域で維持管理される公園・緑地等が増え、適切に利用されている

10年後の地域の姿

供用開始されている区域は、大部分が下水道に接続されている。

その結果、供用開始区域内の側溝には、雨水のみが流れ、市民は衛生的で快適な暮らしをしている。

市役所の使命

下水道への接続や受益者負担金 に対する理解を深めてもらうための啓発活動を行う。積極的、計画的に下水道整備の推進を図る。



- 全体目標** 下水道が整備され、快適な水環境の下で生活している
- 個別目標** 下水道使用料、受益者負担金 の収納率が向上し、健全で安定した下水道事業が運営されている
- 個別目標** 下水道が整備され、生活環境が向上している

10年後の地域の姿

青木川放水路事業や河川改修事業の施工、雨水貯留浸透施設の設置などの流域の総合治水対策が進み、浸水被害が軽減されている。

その結果、災害に対する不安が解消され、市民が安心・安全に暮らしている。

市役所の使命

青木川放水路事業の早期完成と河川改修を関係機関と一体となって進める。大雨の時の河川への負担を軽減するための、公共施設への雨水貯留浸透施設の設置と市民へ雨水浸透柵の普及を図る。



- 全体目標** 河川等が整備され浸水被害に遭うことがなく、安心して暮らしている
- 個別目標** 河川等の改修整備と雨水抑制機能が強化され、浸水被害が軽減している

10年後の地域の姿

民間組織と市役所が連携を図り、効果的な開発・建築指導がなされ、耐震への取り組みが進められている。また、公共施設は、ユニバーサルデザイン・バリアフリー 化され、有効に利用されている。

その結果、住環境が整備され、市民は安心安全な生活環境のもとで暮らしている。

市役所の使命

安心・安全な住環境の構築のため、専門的技術・知識や経験を持つ市民や民間組織と連携し、耐震改修の推進、街なか居住の推進、既存公共施設の有効利用とユニバーサルデザイン・バリアフリー化を進める。



- 全体目標** 住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されている
- 個別目標** 建築指導及び開発指導の民間組織との協同での取り組みは、安心・安全への住民意識を高揚させている
- 個別目標** 市営住宅は、住民による施設運営への参加により、安心・安全な生活環境が確保されている

10年後の地域の姿

健全な経営と水道施設の計画的かつ適正な布設、改修、維持管理が行われている。

その結果、安全で良質な水道水が安定的に供給され、市民が安心・安全に暮らしている。

市役所の使命

健全な経営と水道施設の整備を行い、安全で良質な水道水の安定供給を行う。



全体目標 健全な経営と水道施設の整備が行われ安全な水道水が安定的に供給され、市民は安心して利用している

個別目標 水道事業が適正に運営され、健全な経営が行われている

個別目標 水道施設が整備され、安定した水道水が供給されている

分野 4 教育分野

めざす姿

次世代の社会を担う豊かな人間性と学力を持った子どもが育っているとともに、市民が生涯にわたり学び、それを地域社会に活かしている。

1 地域に開かれた快適で安全な学校づくり

学校教育

10年後の地域の姿

教育を受ける機会が均等にあり、個人や地域の実情に応じた教育が行われている。学校教育活動に関する情報が適時に家庭や地域に提供され、常に改善に向けた取り組みが行われており、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、補完する中で、児童生徒の健全な育成や安全の確保に積極的に関わる地域になっている。また、子どもたち一人ひとりに応じ、社会性や基礎的な学力・体力が育成できる教育体制が整っているとともに、学校施設の耐震化などの施設整備も進んでいる。

その結果、地域に良好な人間関係が広がり、児童生徒は社会性を身に付け、豊かな心を持って、いきいきと育っている。



- 全体目標** 学校・家庭・地域との関わりの中で、児童生徒が自ら学ぶ力を持ち、心豊かにいきいきと育っている
- 個別目標** 児童生徒が心身ともに健康な状態で、適切な教育を受けている
- 個別目標** 学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの社会性、人間性がはぐくまれている
- 個別目標** バランスのとれた給食や食育の実施により、子どもたちが正しい食習慣を身に付け健康に育っている
- 個別目標** 教育を受ける環境が整備され、快適で安全な状態で児童生徒が学習活動に取り組んでいる

市役所の使命

すべての児童生徒が自分の夢をはぐくみ、その実現を目指し、快適で安全に学習できる学校環境を整備していく。

給食センターの適切な管理運営と、栄養バランスのとれたおいしい給食を安価に提供するとともに、食の大切さを児童生徒及び保護者に伝えていく。

2 将来にわたって活躍できる人づくり

教育環境

10年後の地域の姿

地域全体で子どもたちを育てる体制が整い、多くの人が地域のために貢献している。また、子どもから大人まで望むときに望む教育を受ける環境が整っているとともに、地域の実情に応じた小・中学校に通学できる教育環境が整っている。

その結果、いじめや非行が減少し、子どもたちが健全に育っている。そして、地域全体が魅力と活気にあふれ、地域社会の活性化の原動力となる新たな人材が育っている。



- 全体目標** 良好な教育環境が構築され、青少年の健全な育成が図られている
- 個別目標** 地域社会が教育に関心を持ち、望む教育を受ける環境が整っている
- 個別目標** 子どもが健やかに育つ環境が整い、人間性豊かな子どもたちが育っている

市役所の使命

生涯にわたって学ぶことができる環境を整備し、地域社会に貢献できる人材を育てていく。

いじめや非行のない社会の実現に向けて相談体制を整えるとともに健全育成のための啓発を進めて環境を整備する。

10年後の地域の姿

市民の生涯学習ニーズに対応し、大学などの教育・研究機関から学習機会や施設などが提供され、スポーツ団体、学習サークルよる市民の自発的な学習活動、ボランティア活動が図書館や公民館、地区の集会所で活発に行われている。男女共同参画が市民に浸透するように、さまざまなメディアを活用した啓発活動や講座・イベントが開催されている。

その結果、多くの市民が生涯にわたり身近な場所で学習やスポーツに取り組み、豊かな社会性と創造性が育っている。また、男女が社会の構成員としてあらゆる分野の活動に対等に参画し、協力する社会となっている。

市役所の使命

地域の人的、物的資源を活用し、社会変化や時代のニーズにあった生涯学習を支援する。

知識や能力を持つ人がその能力を活かし、活躍できる場を提供する。

生涯学習活動のためのリーダーやボランティアの育成を行う。

男女共同参画が市民に浸透するよう、啓発や学習活動に努めるとともに環境を整備する。

身近に図書館を利用でき、生涯学習活動に役立つ資料や情報を入手できるよう図書館を充実する。

市民がスポーツに気軽に接し、楽しむことができる機会の充実に努める。



- 全体目標** 市民が生涯にわたって学習し、その能力を発揮する環境が整っている
- 個別目標** 市民が、自発的な学習活動を展開し、生きがいを持った生活を送っている
- 個別目標** 市民が身近にスポーツを楽しみ、なれ親しんでいる
- 個別目標** 男女が社会のあらゆる分野で対等なパートナーとして参画し、共にその責任を分かち合っている

10年後の地域の姿

各種行事に参加したり、優れた文化芸術を鑑賞したりする機会が増え、積極的に文化芸術に親しんでいる。郷土の歴史や文化財の保存などに関心を持った市民・サークルが、主体的に研究活動を行っている。また、「市内在住外国人も同じ江南市民」という多文化共生の意識が浸透し、外国人も社会ルールを守って市民生活をしている。

その結果、心豊かな文化社会が創造されるとともに、文化財や伝統文化が大切に継承され、郷土を愛する心がはぐくまれている。また、安心して暮らせる「多文化共生のまち」が生まれ、国際的な理解度の深い市民が多くなっている。

市役所の使命

文化活動が活発に行われるよう、多様な文化芸術に関する取り組みを進めるとともに、文化団体を支援育成する。

市の歴史を正しく理解するためのセミナー、講演会を開催するとともに市内に残されている歴史資料や歴史民俗資料館の資料を公開した企画展を開催する。

江南市国際交流協会などとの連携をさらに強め、在住外国人をサポートする取り組みや多文化共生の取り組みに対する支援を行う。

世界平和の重要性の認識や国際情勢の理解をさらに一般市民に浸透させるためのさまざまな国際平和に関する取り組みを進める。



- 全体目標** 市民の文化活動や国内外の交流活動が活発に行われ、心豊かな生活を送っている
- 個別目標** 市民が文化芸術活動を積極的に行っている
- 個別目標** 郷土の歴史・文化が正しく理解され、郷土に対する愛着や誇りをもっている
- 個別目標** 世界平和の重要性が認識され、在住外国人も安心して暮らしている

分野 5 経営、企画分野

めざす姿

市民と市役所との信頼関係のもとに協働型社会が構築されており、限られた経営資源の中で最大の成果を実現し、効率的で公平かつ適正な行財政運営が行われている。

1 地域協働の推進

地域経営

10年後の地域の姿

市民、自治会、市民団体、企業、教育・研究機関と市役所との信頼関係のもと、市の将来のすがたや目標を共有するとともに、それぞれの得意分野で、連携・分担・協働により、地域課題の解決を図りながら、その実現に向けて協力し合っている。

その結果、地域課題や市民ニーズに対して、地域のさまざまな主体によってきめ細かく対応がされ、地域全体で地域の価値を高めて市民が満足している。

市役所の使命

協働型社会への転換を図るため、市民が地域づくりの主役となり市役所が調整役となるしくみを構築する。またそのために、ボランティア団体などのネットワーク化を図るとともに、地域情報センターなどの公共施設や地域の集会場を市民活動の拠点や情報交換の場所として整備する。

自覚と責任を持った住民自治を確立するため、地域社会の発展に貢献できる人材を育成する。また、市民と市役所の役割を明確にし、市民ニーズの把握や情報提供を行う。



- 全体目標** 地域全体で将来の目標を共有し、協働で取り組むことにより、地域の価値が向上している
- 個別目標** 市民が地域社会の担い手になっている
- 個別目標** 地域内の情報を共有し、市政に理解と関心を深めている

2 戦略的な行政経営の推進

行政経営

10年後の地域の姿

市役所の各組織が、最大の成果を実現するため、明確な目標をもち、限られた経営資源を活用して行政運営を行っている。また、職員が常にチャレンジ精神を持ち、最大限の力を発揮している。

その結果、限られた経営資源の中で、最大の成果を実現し、市民が市役所を信頼している。持続可能な財政基盤が確保されている。

市役所の使命

市役所の各組織が、展望や目標を共有し、使命を明確にして、与えられた経営資源を活用して最大の成果をあげる経営のしくみの構築に力を入れる。そして、それを実現できる経営能力とリーダーシップを兼ね備えた人材を育成するとともに「やる気」を喚起する人事システムを構築する。また、住民説明会やパブリックコメントなど市民の声を聞く機会を充実させ、施策の展開や資源配分に反映させる。



- 全体目標** 限られた資源の選択と集中により、市民満足度の高い行財政運営が行われている
- 個別目標** 市役所の簡素化・効率化が図られ、市民ニーズに応えている
- 個別目標** 計画的で健全な財政運営が行われている
- 個別目標** 職員自ら資質の向上を図り、政策形成とマネジメント能力を持った職員が育っている

3 公平かつ適正な課税・収納

課税・収納

10年後の地域の姿

税の目的やしきみがわかりやすく説明され、公平かつ適正な課税・収納が行われている。

その結果、市民は、納税意識が高く、税負担が公平かつ適正であると感じ、納税の義務を果たしている。

市役所の使命

公平かつ適正な課税・収納のための専門的知識を持った職員を育成し、適正な課税・収納事務を行う。また、滞納整理体制の強化や納付機会の拡大などにより、収納率の向上を図る。



- 全体目標** 市民は納税意識が高く、税負担が公平・適正であると感じている
- 個別目標** 市民は、公平かつ適正な課税がされていると感じている
- 個別目標** 公平・公正な税負担を感じ、自主的に納税を行っている

4 効率的かつ円滑な事務管理の推進

行政事務管理

10年後の地域の姿

個人情報保護のもと、わかりやすい情報公開が行われている。また、ITなどを活用し、効率的かつ円滑に事務が執行されている。

その結果、公平かつ適正な事務管理が行われ、市民は市役所を信頼している。

市役所の使命

行政の透明性の確保と説明責任の遂行のため、適正に市政情報の公開を行う。また、電子自治体の推進を図るため、ITを活用したシステムの導入を進めるとともにセキュリティ研修などを実施して情報セキュリティ対策、個人情報保護の徹底を図る。

金融情勢の変化を的確に把握し、公金の安全かつ有利な運用に努めるとともに、適正な出納審査に努める。

適正な行政運営のための監査を行うことにより、市役所に対する市民の信頼を確保する。



- 全体目標** 適正な事務管理及び資産の管理・運用により、市民は市役所を信頼している。
- 個別目標** 効率的かつ円滑に業務が実施され、わかりやすい情報の提供により開かれた市政が行われている
- 個別目標** 資産が適正に管理・運用され、有効に活用されている
- 個別目標** 各種行政委員会 の事務が適正に行われ、市民の信頼が得られている

5 より開かれた適切な議会運営への支援

議会運営への支援

10年後の地域の姿

議会事務局は、的確な議会運営の支援を行い、議会は、議事機関としての機能を適切に果たし、市民にわかりやすい開かれた活力ある議会運営を行っている。

その結果、市民は、議会の審議等により、市の施策、事業の経過や進捗状況を把握でき、市政に関心を持っている。

市役所の使命

議事機関としての議会の機能が適切に果たされるため、議会や議員活動を支援する。

議会事務局職員の専門性を高め、議会からの要請などに的確に対応できる体制づくりに努める。

積極的に市民へ議会情報等を提供することなどにより、市民にわかりやすい開かれた議会運営への支援をする。



- 全体目標** より開かれた議会の実現とわかりやすく親しまれる議会運営が行われている

用語解説

いこまいCAR

いこまいCARとは、市民が地域社会に積極的に参加しやすくするために、市内移動の交通手段として、市役所が平成14年1月から運行しているコミュニティ・タクシー。

雨水貯留浸透施設

雨水貯留浸透施設とは、敷地内からの雨水の流出を抑制するために設置する、雨水貯留槽などの雨水貯留施設や、雨水浸透枳などの雨水浸透施設の総称をいう。

NPO

NPOとは、Non-Profit Organizationの略。営利を目的とせず、社会的な使命の達成を目的に、公益活動を行う民間組織のこと。特定非営利活動促進法（NPO法）により認証を受けた特定非営利活動法人（NPO法人）をいう。

感染症

感染症とは、ウイルスや細菌などの微生物が体内に入り、体内で増加することにより発症する病気のこと。

危険物施設

危険物施設とは、一定数量以上の危険物を貯蔵し、または取り扱うことのできる許可を受けた施設のこと。

行政委員会

行政委員会とは、政治的中立性を必要とする行政を推進するため、一般の行政事務から独立した権限を行使するために設置される機関。教育委員会、選挙管理委員会等があるが、ここでいう行政委員会は、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会である。

クリーンエネルギー

クリーンエネルギーとは、環境への影響がより少ないエネルギーのこと。太陽エネルギーや風力エネルギーなどの自然エネルギーや、電力、LNG（液化天然ガス）などの二次エネルギーがあげられる。

公金

公金とは、市が保有し保管する金銭のこと。

交通安全施設

交通安全施設とは、歩道、路側帯、道路標識、道路標示、道路照明灯、道路反射鏡、防護さくなどの交通の安全を確保するための施設のこと。

ごみ減量「57（コウナン）運動」

ごみ減量「57（コウナン）運動」とは、江南丹羽環境管理組合（環境美化センター）の焼却場を延命使用していくため、平成10年2月より、ごみ減量、分別リサイクルの推進を展開している運動のこと。

コミュニティビジネス

コミュニティビジネスとは、高齢者介護、子育て支援、環境保全、生涯学習、地域の活性化などに関する地域の課題を、地域資源を活かしながら「ビジネス」の手法で解決していこうとする取り組み。

受益者負担金

受益者負担金とは、下水道が整備されることにより利益を受ける人（整備区域の土地、建物所有者、など）が、その受益に応じて、建設費用の一部を負担するもの。

循環型社会

循環型社会とは、環境への負荷の低減を図るために、資源やエネルギーのリサイクル、リユースに配慮したシステムを有する社会のこと。わが国では、循環型社会の形成を推進する基本的な枠組みとなる循環型社会形成推進基本法が平成12月6月に制定された。

生活産業

生活産業とは、「生活者」の視点から、生活を便利に快適にするための商品やサービスを提供する産業のこと。

生活習慣病

生活習慣病とは、長年身についた悪い食生活をはじめ、運動不足、休養不足、過度の飲酒や喫煙などの毎日の生活習慣が積み重なって発症する病気のこと。

多文化共生

多文化共生とは、国籍や民族の異なる人々が、互いの文化的違いを認めた上で、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

地域再生計画

地域再生計画とは、地域が自ら考えて地域経済の活性化と地域雇用の創造を実現しようとする取り組みに対し、国が支援する制度。地方公共団体が事業計画を作成し、その計画の認定を受けることによって、国からの支援措置を利用した取り組みを行う。江南市では、平成16年度に「花いっぱい・元気いっぱいのまち 江南」再生計画が認定を受けている。

都市計画マスタープラン

都市計画マスタープランとは、市町村が将来の都市づくりのビジョンと、これを実現化するための方針等を定めるものをいう。

土地区画整理事業

土地区画整理事業とは、土地区画整理法に基づき、都市計画区域内の土地について、公共施設の整備改善及び宅地利用の増進を図るために行われる土地の区画形質の変更や公共施設の新設又は変更に関する事業をいう。

トップマネジメント

トップマネジメントとは、組織の方向づけを行い、ビジョンを明らかにし、基準を設定する機関であり、一般には経営層をいう。江南市役所では、市長、副市長、教育長、部長相当職にある者をトップマネジメントと位置づけている。

認定農業者

認定農業者とは、農業経営の改善に関する目標等を記載した農業経営改善計画を作成し、市町村長の認定を受けた農業者のこと。

ノーマライゼーション

ノーマライゼーションとは、障害者に、全ての人を持つ通常の生活を送る権利を可能な限り保障することを目標に社会福祉を進めること。

パブリックコメント

パブリックコメントとは、市が計画や条例などを策定したり変更したりするときに、その内容を案の段階で公表し、案に対する意見や提案、要望を広く市民の皆さんから募集する手続きのこと。

ベンチャー

ベンチャーとは、起業して新しい領域の事業を行う企業やビジネスのこと。一般に、独自の技術や商品を以って新ビジネスに取り組む、成長初期の中小企業を指す。

マネジメントサイクル

マネジメントサイクルとは、計画を立て〔PLAN〕、それを実施し〔DO〕、その成果を測定（評価）して〔CHECK〕、その結果を踏まえて改善活動を行う〔ACTION〕、組織運営や業務遂行の一連の流れ。PDCAを繰り返し行うことにより、継続的にマネジメントの質を高めることをめざすもの。

民生委員

民生委員とは、民生委員法に基づき、社会奉仕の精神を持って、常に住民の立場になって相談に応じ、及び必要な援助を行い、社会福祉の増進に努めることを任務として、市町村の区域に配置されている民間人。民生委員は児童委員を兼ねる。

ユニバーサルデザイン・バリアフリー

ユニバーサルデザインとは、障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方。バリアフリーとは、障害者や高齢者が、生活する上で支障となる物理的な障壁や意識上の障壁を取り除くこと、また障壁が取り除かれた状態。障壁を取り除くことをバリアフリーというのに対し、はじめから障壁を作らないという考え方がユニバーサルデザイン。